



情報オリンピック

No.16

に参加しよう!



第13回日本情報オリンピック(JOI2013/2014)表彰式

2014年3月24日 NTTデータ駒場研修センターイベントホール(東京都目黒区)で挙行



JOI 2013/2014 地域(ブロック)別成績優秀者

ブロック制は、全国を6つの地域に分け、各地域の成績優秀者(金銀銅賞以外の者)を表彰する制度です。

ブロック	氏名	学校名	学年	学校所在地
北海道・東北	いがらし こうき 五十嵐 皐暉	福島県立会津高等学校	高2	福島県
関東	ますだ たかひろ 増田 隆宏	筑波大学附属駒場中学校	中3	東京都
中部	こんどう ゆうと 近藤 祐斗	高田高等学校	高1	三重県
	きなだ たかひろ 眞田 嵩大	福井県立藤島高等学校	高2	福井県
近畿	おぐら けん 小倉 拳	灘高等学校	高2	兵庫県
中国・四国	さとう そうた 佐藤 聡太	香川県立高松高等学校	高2	香川県
九州・沖縄	まるやま よしき 丸山 義輝	宮崎県立宮崎西高等学校	高2	宮崎県

(同ブロック内での並びは氏名の五十音順。学校名及び学年は2014年2月時点)



第 13 回日本情報オリンピック (JOI2013/2014) 成績優秀者 20 名を表彰

第 13 回日本情報オリンピック (JOI 2013/2014) 表彰式は、3 月 24 日午後 2 時半より N T T データ 駒場研修センターのイベントホールにおいて、御来賓、受賞者の保護者、情報オリンピック日本委員会関係者、J O I の O B など多数の方々の御臨席のもと挙行されました。

はじめに、情報オリンピック日本委員会理事長の筧捷彦・早稲田大学教授から挨拶と JOI 2013/2014 の経過報告があり、続いて成績発表が行われました。

ブロック別成績優秀者 7 名の表彰から始まり、優秀賞 14 名、銀賞 3 名、金賞 3 名の順に呼ばれ、表彰状が授与されました。ブロック別の成績優秀者には元 IOI 日本代表選手から、金/銀賞の受賞者には独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 理数学習支援センター才能育成担当調査役河崎泰介様からメダルの授与がありました。

また、金賞受賞者 3 名には、当委員会協賛企業である株式会社 N T T データ 広報部長の富岡洋子様から優勝カップが授与されました。さらに、副賞として当委員会協賛企業である富士通株式会社の代表取締役副社長 藤田正美様から、ノート P C 「LIFEBOOK AH77/M」が金賞の 3 名に、銀賞の 3 名にはノート P C 「LIFEBOOK AH56/M」が贈られました。



筧理事長



←
ブロック賞表彰

元 IOI 日本代表選手から
ブロック賞
受賞者へ
メダルの授与↓



JST 河崎様よりメダルの授与



株式会社 N T T データ 富岡様より優勝カップの授与と祝辞



富士通株式会社 藤田様より副賞の授与



JOI 2013/2014 成績優秀者

本選参加者 77 名中の成績上位 20 名は、春季トレーニング合宿に招待され、
第 26 回国際情報オリンピック (IOI) 台湾大会の日本代表選手選抜競技に臨みました。

	氏名	学校名	学年	学校所在地
金賞	いのうえ たくや 井上 卓哉	開成中学校	中 3	東京都
	くまべ そう 隈部 壮	筑波大学附属駒場高等学校	高 2	東京都
	さとう りょうま 佐藤 竜馬	大阪府立茨木高等学校	高 2	大阪府
銀賞	い さ ひろたか 伊佐 碩恭	開成中学校	中 3	東京都
	い わ い りゅうのすけ 岩井 龍之介	灘高等学校	高 1	兵庫県
	たかや ゆうた 高谷 悠太	開成中学校	中 2	東京都
優秀賞	あ た か ゆ う き 安宅 佑騎	早稲田高等学校	高 2	東京都
	い が ら し こう き 五十嵐 皐暉	福島県立会津高等学校	高 2	福島県
	お ぐ ら けん 小倉 拳	灘高等学校	高 2	兵庫県
	か わ は ら い さ と ろ 河原井 啓	筑波大学附属駒場中学校	中 2	東京都
	こ う の き せ き 河野 輝星紀	武蔵高等学校(私立)	高 2	東京都
	こ ん ど う ゆ う と 近藤 祐斗	高田高等学校	高 1	三重県
	さ た け し ゅ ん や 佐竹 俊哉	灘高等学校	高 2	兵庫県
	さ と う そ う た 佐藤 聡太	香川県立高松高等学校	高 2	香川県
	さ な だ た か ひ ろ 眞田 嵩大	福井県立藤島高等学校	高 2	福井県
	ふ じ た り ょ う 藤田 瞭	灘高等学校	高 2	兵庫県
	ま す だ た か ひ ろ 増田 隆宏	筑波大学附属駒場中学校	中 3	東京都
	ま つ し た ゆ う す け 松下 祐介	灘高等学校	高 2	兵庫県
	ま る や ま よ し き 丸山 義輝	宮崎県立宮崎西高等学校	高 2	宮崎県
	や く ら ひ ろ む 矢倉 大夢	灘高等学校	高 2	兵庫県

(以上 20 名。同賞内での並びは氏名の五十音順。学校名及び学年は 2014 年 2 月時点)



第 13 回日本情報オリンピック (JOI2013/2014) 表彰式



富士通株式会社
代表取締役副社長
藤田 正美 様

金賞、銀賞に
授与された
副賞の PC →

金賞



LIFEBOOK AH77/M

銀賞



LIFEBOOK AH56/M



ブロック賞受賞者 左から

五十嵐暁くん、増田隆宏くん、近藤祐斗くん、眞田嵩大くん、小倉拳くん、佐藤聡太くん



御来賓 御祝辞 (科学技術振興機構)

独立行政法人科学技術振興機構 理数学習支援センター 才能育成担当調査役 河崎泰介様よりご祝辞をいただきました。



「本日受賞されました金賞3名、銀賞3名、ブロック賞7名そして優秀賞14名の方、おめでとうございます。

合宿では、ここにおられる20名の方が非常にハードな日々を送られたのではないかと思います。本当にご苦労様でした。

私達は普段『情報』を意識することは、あまりありません。しかし極端な言い方かもしれませんが、私達は『情報』無しには 1 日も生きていけない、そういう状況になっているかと思います。

『情報』は、これからますます重要なものになっていくかと思っておりますので、ぜひこれからも頑張ってくださいと思います。

それからひとつお願いがあります。情報だけでは世の中に十分に役立っていない部分がありますので、たとえば工学的なものなど、ほかのまわりの分野にも合わせて興味をもって学んでほしいと思います。これからも頑張ってください。おめでとうございます。」



情報処理学会『若手奨励賞』授与

金・銀賞受賞者には、情報処理学会『若手奨励賞』が、情報処理学会教育担当理事の位野木万里様から授与されました。若手奨励賞授与に引き続き、ご祝辞をいただきました。



受賞者左から

岩井龍之介 くん、高谷悠太 くん、伊佐碩恭 くん、井上卓哉 くん、隈部壮 くん、佐藤竜馬 くん

【位野木様からのご祝辞】

情報処理学会は、日本では唯一の情報分野の学会になっています。大学や研究機関の関係者から企業、産業界まで約2万人が所属する大きな学会で、そういった学会から若手の優秀な方たちを奨励賞として表彰することができて大変誇らしい気持ちとなり、またこれからの日本は安泰だなといった安心した気持ちになっております。一週間にもわたる合宿をされ、お疲れのところもあるかもしれませんが今日の表彰式で賞状や副賞を授与され得られた評価、成果をぜひこれからの励みにしてますます頑張ってくださいと思います。本日は本当におめでとうございました。



表彰式記念講演会

表彰式に続いて午後3時40分から、位野木様に『若い力への期待～真の顧客要求に応える製品ソフトウェア開発のために～』と題して講演していただきました。

【要旨】23年間ソリューション開発の現場で働いてきた経験談を中心に話をします。

皆さん才能にあふれていますが、IT技術者には、必要な能力が3つあります。

1番目に「プログラミング力」です。プログラミング言語に精通しアルゴリズムで華麗に解ける。これは今皆さんがまさに行っていること、これが一番大事です。2番目に「対象領域への応用力」です。業務・業種知識を駆使してシステム化する。業種とは金融、流通、製造業などいろいろあり、業務とは、販売、経理、人事、営業などありますが、そこでITを応用して利用することです。3番目に「俯瞰力」。多種多様な世界の深い理解に基づき問題を解決することです。それは、お客様の注文の本来の目的を見抜き、5年後10年後でも役立つものをつくること、ただ注文されたものをそのまま作るのではなく、その目的や本質を見抜く力をつけることです。

みなさんは情報技術の才能があり、これからさらに能力を高めていかれることでしょう。

その時に、これは誰の役にたつのか、何のためにあるのか、今の解決策は最適なのかを、一步引いて、客観的にとらえ続けることにも努力していただきたいと思います。



情報処理学会 位野木万里様



第26回国際情報オリンピック 台湾大会日本代表選手発表会



表彰式記念講演会に続いて午後5時から、国際情報オリンピック日本代表選手の発表会を行いました。前日までに行われた4回の競技(1日5時間の競技にて4日間。競技1に4問、競技2~4に3問の課題を出題、計13問1300点満点)の成績上位4名が、7月13日から20日にかけて台湾の台北で開催される第26回国際情報オリンピック(IOI)日本代表選手として選ばれました。

はじめに、運営委員会委員長の谷聖一・日本大学教授から選考経過の報告があった後、代表に選ばれた4名が発表されました。つづいて、結団式に移り、まず、算理事長から保坂和宏副団長に国旗が渡されました。次いで、株式会社NTTデータ広報部長の富岡洋子様から選手たちに台湾大会のチームユニフォームが贈呈され、また力強い激励のお言葉を頂戴しました。次に文部科学省より祝辞をいただき、最後に、保坂副団長および選手一人ひとりがIOIでの活躍を誓う決意表明をしました。質疑応答では報道関係者やIOI元選手よりコメントをいただき、閉会、その後フォトセッションと進み、笑顔が溢れる中、和やかに行われました。

【文部科学省祝辞】科学技術・学術政策局人材政策課 課長補佐 助川隆様から祝辞をいただきました。
 「代表選手に選ばれた4人の皆さん、おめでとうございます。代表に選ばれなかった皆さんも、合宿まで選抜されてきたファイナリストです。自信をもってそれぞれの学校に戻り、これからも弛まぬ努力をしていただきたいと思います。
 先日、スポーツのオリンピックが終わり、皆さんと同じ10代の若い力が金メダルを獲得しました。これからは若い皆さんが活躍していく時代になります。台湾大会では、自分の力を大いに発揮してきてください。またそれだけでなく、色々な国の選手と交流をして、多くの友人を作っていただきたいと思います。
 文部科学省や科学技術振興機構でも、皆さんのような理数好きの生徒を応援しています。例えば『科学の甲子園』や大学に入ってから『サイエンス・インカレ』など用意していますので、ぜひ活用していただければと思います。IOIでは頑張ってください。」

2014年3月24日の日本代表選手発表会にて4名の選手を発表しましたが、そのうち2名が辞退することになりました。2014年5月8日に、辞退した2名に代わり日本代表選手選考競技の5位と6位の選手をIOI 2014日本代表選手に選出しました。

代表選手 五十音順	伊佐 碩恭 ☆	開成高等学校 1年
	井上 卓哉 ★	開成高等学校 1年
	小倉 拳	灘高等学校 3年
	隈部 壮 ★	筑波大学附属駒場高等学校 3年 IOI2013 オーストラリア大会 銀メダル
	佐藤 竜馬 ☆	大阪府立茨木高等学校 3年
	高谷 悠太	開成中学校 3年

★辞退者 ☆辞退者に代わっての選出者



伊佐 碩恭くん



井上卓哉くん



小倉 拳くん



隈部 壮くん

団長	伊藤 哲史	京都大学大学院 准教授 IOI 1994, IOI 1995 選手
副団長	保坂 和宏	東京大学理学部数学科 4年 IOI 2008, IOI 2009 選手
随員 五十音順	今西 健介	東京大学理学部情報科学科 3年 IOI 2010, IOI 2011 選手
	城下 慎也	東京大学理学部情報科学科 3年 IOI 2011 選手

所属および学年は2014年5月8日時点



佐藤 竜馬くん



高谷 悠太くん



第13回日本情報オリンピック (JOI2013/2014)

予選、本選

第13回日本情報オリンピックの予選は、2013年12月15日(日)にウェブ上オンラインで実施されました(競技時間は午後1時から4時までの3時間)。本選は、2014年2月8日(土)、9日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で行われました。本選には、予選競技結果に基づき78名が招待され、1名の辞退者を除く77名が参加しました。競技は参加者全員が同じPCを使い、2月9日午前10時から午後2時までの4時間、5問の問題を解くためにプログラムを作って競いました。また、本選初日2月8日にはプラクティス(実機練習)と食事会が行われ、9日の本選競技終了後には問題解説会が行われました。本選の成績優秀者20名が春季トレーニング合宿(3月19日～3月25日)へ招待されました。



本選初日プラクティスの様子



本選競技



←
食事会
予選女性トップと
予選満点者に
理事長賞が
授与されました



春季トレーニング合宿 (IOI2014日本代表選手選考会)

2014年3月19日から25日までの一週間、NTTデータ駒場研修センター(東京都目黒区)と国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において春季トレーニング合宿が行われました。合宿には、20名の招待者のうち1名の辞退者を除く19名が参加しました。連日9時から14時までの競技、16時から18時30分までの講義、19時30分から21時までの問題解説などハードなスケジュールをこなし、24日の日本代表選手発表会に臨みました。



競技



講義



合宿参加者



第13回 JOI 本選併催教員研修会

2月9日には、本選の競技と並行して、参加生徒・学生の在学校の先生方と研修会が行われ、茨城県立竹園高等学校の宮内和広先生、愛媛大学附属高等学校の八木昌生先生にはそれぞれの学校における情報オリンピックへの取り組みについて紹介いただきました。



教員研修会の様子



茨城県立竹園高等学校
宮内 和広 先生



愛媛大学附属高等学校
八木 昌生 先生



『レギオ』地域密着型学習支援講習会

地方の大学などと共催で、その地域の生徒・学生を対象に、情報オリンピックの出題形式に慣れさせ、競技力向上を目指すトレーニング「レギオ (Regional training Center)」講習会を前年度より1箇所増やし8箇所で開催しました。レギオ講習会とは、情報オリンピックの予選参加を目指す生徒・学生に対して、プログラミングとアルゴリズムの基礎的なトレーニングを行う講習会です。実践的なトレーニングを通じて、プログラミングやアルゴリズムの効果的な独習方法を身につけてもらうのが目的です。



専修大学 2013年7月31日、8月28日



静岡大学 2013年8月8日、21日



神戸大学 2013年8月9日、20日



広島市立大学 2013年8月9日、19日



愛媛大学 2013年8月25日、9月8日



中京大学 2013年11月3日



茨城県教育委員会・筑波学院大学
2013年9月15日、10月13日



東洋大学 2013年10月6日、11月10日

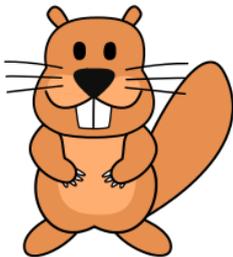


ジュニア向け活動 富士通キッズイベント2013

数理情報科学教育の普及・啓発活動の一環として、ジュニア部門では、毎年夏に、富士通株式会社との共催で「富士通キッズイベント」を開催しています。
「富士通キッズイベント 2013 夢をかたちにするしくみ」のイベントレポートは、
<http://jp.fujitsu.com/about/kids/events/20130803/report.html> からご覧いただけます。



ジュニア向け活動 日本情報オリンピックジュニア大会 国際情報科学コンテスト「ビーバーコンテスト 2013」



情報オリンピック日本委員会では、2010年より小中学生を中心としたジュニア向けの情報科学コンテストを開催しています。このコンテストは、Bebras (ビーバーコンテスト) という名称で欧州を中心に普及が進んでいるコンピュータ科学に関する子ども向けのコンテストです。Bebras は、リトアニア語で「ビーバー」のことです。
ビーバー『コンテスト』と称していますが、順位をつけて競い合うことを目的とはしていません。

児童・生徒が情報科学に関連した親しみやすい問題に取り組むことで、情報科学と情報活用に対して興味を抱くようになることを目的としています。

論理的思考力を問う問題も出題されますので、生徒の「考える力」「自分で考えるという意識」を向上させる一助になることが期待されます。

授業の中で実施することによって授業の補助教材のようにお使いいただくことも可能ですし、授業とは別に(例えば、放課後に部・クラブ単位で)参加していただくことも可能です。

ビーバーコンテスト 2013 では、29校の学校から4350名の児童・生徒・学生が参加しました。ビーバーコンテスト 2013 の概要は、<http://www.ioi-jp.org/junior/bebras2013.html> から、問題・解説は、<http://bebras.eplang.jp/> からご覧いただけます。



普及広報活動 「科学の甲子園」にてブース出展

2014年3月21日から23日まで兵庫県立総合体育館で開催された「科学の甲子園」の中で23日に情報オリンピックのブースを出展し、ポスターチラシを配布しました。

情報オリンピック日本委員会の寛捷彦理事長が、ブースに来た生徒・先生・来賓に情報オリンピック日本委員会の活動を説明したり、質問に答えたりしました。

7つの科学オリンピックそれぞれがブースを出展し、「科学の甲子園」に参加した多くの人たちが各ブースに興味を持ち、話を聞いていました。





第14回日本情報オリンピック開催

第27回国際情報オリンピックは2015年(時期未定)にカザフスタンで開催される予定です。日本代表選手候補を選抜する第14回日本情報オリンピックは以下のように開催されます。本選の成績上位者にはメダルと副賞が授与され、春季トレーニング合宿に招待されて日本代表選手選抜競技に参加できます。全国を6ブロックに分け、ブロックごとの成績優秀者も表彰します。成績優秀者には多数の大学における入試に関する特典や、夏季セミナーやアジア太平洋情報オリンピックへの優先参加などの特典があります(詳細は情報オリンピック日本委員会のウェブサイトをご覧ください)ので、奮ってご応募ください。

応募資格 : 次の2つの条件を満たす者:

- ・2015年2月の日本情報オリンピック本選実施時点で高等学校、高等専門学校、中学校、中等教育学校、小学校、特別支援学校に在学し、学年が高等学校2年以下(中等教育学校や高等専門学校などの在校生は高等学校2年に相当する学年以下)であること。日本国内において学校以外の初等・中等教育機関に所属している人は個別に相談。
- ・生年月日が1995年4月2日以降であること。

予選 : 2014年12月14日(日)にウェブ上オンラインで実施する予定です。ウェブから申し込みができ、学校のPC教室や自宅等において参加できます。

本選 : 2015年2月7日(土)～8日(日)に東京会場で実施します。参加者には交通費を補助いたします。予選を通過した人だけが参加できます。本選と併催して参加者交流セミナー等を開催します(自由参加)。

競技内容 : 与えられた問題を解くために、プログラムを書き、実行して正しい答を出力させます。高校生レベルまでの数学とプログラミングの知識が必要です。予選ではプログラミング言語の種類を問いませんが、本選ではC/C++だけが使えます。

参加料 : 無料

申込方法 : 2014年9月1日から情報オリンピック日本委員会のウェブサイトで受付を開始する予定です。

結果発表 : 予選・本選それぞれ終了後、本人に電子メールで通知します(予選成績をウェブサイトで閲覧できます)。

特典 : 予選や本選の成績優秀者及び国際情報オリンピック日本代表に選ばれた人には以下の特典があります。

- ・東京工業大学推薦入試 第1類(理学部) の応募資格…国際情報オリンピック日本代表選手
 - ・早稲田大学理工系3学部 特別選抜入試「情報オリンピック入試」受験資格 …本選Aランク者
 - ・慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部・理工学部 AO入試1次選考免除 …本選Aランク者
 - ・東北大学理学部・工学部 特別入試(科学オリンピック)出願資格 …本選Aランク者
 - ・立命館大学生命科学部 AO入試出願資格 …本選Aランク者
 - ・筑波大学情報学群(情報科学類・情報メディア創成学類) 国際科学オリンピック特別選抜出願資格 …本選Aランク者
 - ・関西大学総合情報学部AO入試【活動実績評価型】第1次試験合格 …本選Bランク者以上
 - ・国際基督教大学 AO入試Bカテゴリー出願資格 …本選Aランク者
 - ・会津大学推薦入試出願資格 …本選Aランク者
 - ・早稲田大学教育学部自己推薦入試応募資格
 - ・予選の成績優秀者への特典がある大学: 広島大学医学部 AO 入試応募資格、東洋大学総合情報学部自己推薦入試(資格取得者入試)応募資格、東京理科大学理学部第一部数理情報科学・応用物理学科・化学科・応用化学科SSE推薦入学出願資格、中央大学理工学部数学科&情報工学科自己推薦入試応募資格、東京女子大学現代教養学部 AO 入試2次選考小論文免除、東邦大学理学部各学科へのAO入試1次選考免除、専修大学ネットワーク情報学部
- 特典詳細は<http://www.ioi-jp.org/privilege.html> をご覧下さい。



協賛・後援・提携

情報オリンピック日本委員会の活動は、独立行政法人科学技術振興機構、株式会社NTTデータ、富士通株式会社ほかのご支援をいただいています。

また、日本情報オリンピックは、文部科学省、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、日本教育工学会、教育システム情報学会、独立行政法人国立高等専門学校機構、全国高等学校長協会、社団法人全国工業高等学校長協会からご後援をいただいております。スーパーコンピューティングコンテスト、全国高等学校パソコンコンクール、全国高等専門学校プログラミングコンテストと提携しています。



独立行政法人科学技術振興機構



株式会社NTTデータ



富士通株式会社



編集・発行

(NPO 法人)情報オリンピック日本委員会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-26-37-2D

TEL: 03-5272-9794 (FAX: 03-5272-9791)

E-mail: info@ioi-jp.org

<http://www.ioi-jp.org/>